

経済学部A方式I日程・社会学部A方式I日程・現代福祉学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～17	日 本 史	18～35
世 界 史	36～53	地 理	54～64
数 学	66～71		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - ・解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
 - ・解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
 - ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

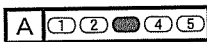
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

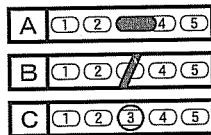
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(世界史)

〔I〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

唐が滅亡した後、華北は次々と王朝が交代し不安定な状況が続いた。

A 系の民族集団出身の李克用の子が923年に 1 を建国したが、その後も、 A 系の武将による王朝が二つ続いた。

またその北方では、 2 の部族長であった あ が916年に諸部族を統一して皇帝を称し、さらに926年には東の 3 をも滅ぼした。第二代皇帝の時代になると、華北の 4 の建国を援助したことの見返りに936年に燕雲十六州を併合し、947年には国号を遼とした。北方民族社会と共に中国内地(1)の社会を支配下に入れた遼は、最初の征服王朝に位置づけられることが多い。(2)

五代十国と言われた分裂した中国を再び統一したのは、宋であった。宋は、 5 の武将であった い が建国した王朝であり、これまでの藩鎮勢力の乱立を抑えるために文治主義と中央集権化を推し進めた。(3)

このように文治主義は皇帝の権力を高めたが軍事的には弱体化を招き、宋は 2 と1004年に B の盟と呼ばれる講和を結び、またオルドス地方に1038年に C 系の民族が建国した 6 とは1044年に講和を結び、毎年多額の銀や絹などを贈ることで平和を維持していた。

宋は、こうした外交費用の他、100万人を超す常備軍や科挙によって大量に登用される官僚を維持するために国家財政がひっ迫していった。第六代皇帝 う は、宰相に王安石を起用して、新法と呼ばれた改革を行った。しかしこうした改革に対する反発も強く、新法党と旧法党の対立を招いた。(4)

D 系の民族が1115年に金を建国すると、宋の第八代皇帝 え は金と同盟を結び、 2 を攻めて燕雲十六州を奪還した。しかし宋が金との約に反したことから金との戦争になり、金は宋の都の開封を陥落させて、上皇 え と第九代皇帝 お を捕虜として金に連行した。

その後、 お の弟、 か が江南に逃れて帝位につき、宋を再興し

た。対金政策では、主戦派と和平派が激しく対立することになったが、軍事的勝利が困難であったことから、金に対して臣下の礼をとり毎年多額の銀や絹を貢ぎ物として贈ることで講和し、 という河川を境界線とすることを定めた。

宋の時代は、 のデルタ地帯の開発が進み、江南が華北をしのぐ⁽⁵⁾大穀倉地帯となり、茶、絹織物、陶磁器、紙などの生産も向上した。これらの商品は広く流通し、貨幣経済の進展を促した。銅銭が大量に鑄造されたほか、手形も紙幣として使われるようになった。

また宋の時代は、文化の面でも唐代と異なる発展を見せた。唐の文化の担い手が貴族であったのに対して、宋では士大夫と呼ばれる官僚・地主であり、木版印刷による多種多様な書物を読む教養人であった。教養の中でももっとも重視されたのが儒学であり、⁽⁶⁾宋学と呼ばれた。

問1 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|------|------|
| a ウイグル | b 契丹 | c 呉 |
| d 後漢 | e 後周 | f 後蜀 |
| g 後秦 | h 後晋 | i 後唐 |
| j 高麗 | k 後梁 | l 西夏 |
| m 西遼 | n 大理 | o 吐蕃 |
| p 北漢 | q 渤海 | |

世界史

問2 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| a 英宗 | b 郭威 | c 徽宗 |
| d 欽宗 | e 光宗 | f 孝宗 |
| g 高宗 | h 朱全忠 | i 眞宗 |
| j 神宗 | k 仁宗 | l 太宗 |
| m 大祚榮 | n 趙匡胤 | o 哲宗 |
| p 耶律阿保機 | q 耶律楚材 | r 耶律大石 |
| s 李元昊 | t 完顏阿骨打 | |

問3 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| a 渭水 | b イラン | c 鴨緑江 |
| d 慶曆 | e 黄河 | f 靖康 |
| g 澶淵 | h チベット | i 長江 |
| j ツングース | k トルコ | l モンゴル |
| m 遼河 | n 淮河 | |

問4 下線部(1)に関して、次のa～dのうち、燕雲十六州にある都市名(表記は現代の都市名)を一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| a 延安 | b 済南 | c 北京 | d 洛陽 |
|------|------|------|------|

問5 下線部(2)に関して、次のア～エの文章のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア 遼では遊牧・狩猟民に対して、北面官が固有の部族制に基づく統治を行った。

イ 遼では農耕民族に対して、南面官が伝統的な封建制に基づく統治を行った。

ウ 遼では漢字やウイグル文字の影響を受けて独自の文字を定めた。

エ 遼の後に華北を支配した金は、謀克・猛安という軍事・行政組織により遊牧・狩猟民を統治した。

オ すべて正しい。

問6 下線部(3)に関して、次のア～エの文章のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア 門下省を置かず、行中書省に一括化した。

イ 皇帝自らが試験を課す殿試を設けた。

ウ 近衛軍である禁軍を強化して正規軍とした。

エ 皇帝は枢密院を通じて禁軍を統括した。

オ すべて正しい。

世界史

問7 下線部(4)に関して、次のア～エの文章のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 均輸法とは、物価の安定と物資の流通円滑化を目的として、地方の物資を政府が買い上げ、不足地で転売する政策である。
- イ 青苗法とは、貧農救済を目的として、政府が植え付け時に金銭や穀物を低利子で貸し付ける政策である。
- ウ 募役法とは、国防力の強化を目的として、農民を農閑期に軍事訓練を課し、常備軍を補強する政策である。
- エ 市易法とは、産業や貿易の振興を目的として、政府が中小商人に対して資金を低利子で貸し付ける政策である。
- オ すべて正しい。

問8 下線部(5)に関して、次のア～エの文章のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 周囲を堤防で囲んだ囲田などが多く作られ、新田開発がなされた。
- イ 日照りに強い早生種である占城稻が普及した。
- ウ 稲を栽培した後に麦を植える二毛作といった農法が発達した。
- エ 江南の穀物生産力は「蘇湖熟すれば天下足る」と評価されるようになった。
- オ すべて正しい。

問9 下線部(6)に関して、次のア～エの文章のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア 宋学の祖と評される周敦頤は、儒学に、仏教、道教を融合して、宇宙生成の理法やその作用の一部としての人の道を説いた。

イ 朱熹は『資治通鑑綱目』を著し、唐宋八大家の一人でもある欧陽脩らの唱えた大義名分論をさらに強調した。

ウ 宋代は対外的な苦境が続いたこともあり、宋学には華夷の別を強調し、四夷に対して中華の文化的優位性を主張する傾向があった。

エ 陸九淵は、朱熹の説が直観的・能動的な「心即理」説であると批判して、知的努力の積み重ねを重視する「性即理」を提唱した。

オ すべて正しい。

世界史

〔Ⅱ〕 次の文書を読み、以下の問いに答えよ。

東南アジア諸国連合(A S E A N)には現在10か国が加盟しているが、古くから⁽¹⁾この地域の島嶼部は、「海の道」と呼ばれる海上東西交易ルートの中継地として栄えてきた。モンスーン航海術の発達によって海上交通の確実性が高まるとともに、主要な中継拠点を立て、物資をリレー方式で結ぶ交易方法が形成され、この結果、東南アジアには港市国家が多数生まれた。このような港市国家の例としては、マラッカ海峡が交通の要衝になって以降、7世紀頃から都市パレンバンを中心に港市国家群が連合した が挙げられる。

11世紀以降、ジャワ島は内陸部の農業生産物とモルッカ諸島からの香辛料を交換して輸出する中継貿易で繁栄するようになり、13世紀には が建てられ、スマトラ島にまで勢力を拡大した。13世紀末に は前王朝勢力の反乱によって絶え、反乱と元の来襲を終息させた新しい指導者によって が建てられた。この王国は14世紀後半には、ジャワ島だけでなく、スマトラ島東部やモルッカ諸島をも影響下においた。

14世紀末になると、マレー半島の南西岸に が成立し、15世紀に入り明の派遣した鄭和艦隊の拠点となり台頭した。 は明の後ろ盾を得ることで やタイの への従属から逃れることに成功した。

は、明への朝貢貿易によって東方との交易、国王のイスラーム教への改宗によって西方ムスリム世界との交易を維持し両者の結合点となることで交易ネットワークの中心となった。

しかし、16世紀に入り、アフリカの喜望峰をまわってヨーロッパからアジアに直行する航路が確立すると、ヨーロッパ諸国が東南アジアに進出し、交易を行うようになった。インド航路を開拓したポルトガルは、最初に東南アジア圏に進出し、武力で交易ネットワークを支配しようとして1511年に の王都を占領した。これに対して、ムスリム商人たちは、その地を回避して、スマトラ島とジャワ島間のスダ海峡を通るルートを開拓した。この結果、スマトラ島では北部に が、ジャワ島西部には が、栄えた。また、王都を占領された の王族はマレー半島の南端に移り、 を建てた。16

世紀初めに、ジャワ島中部では [3] が衰亡し、 [9] が起こった。

17世紀初頭にオランダが東インド会社を設立して、ジャワ島のバタヴィアを根拠地として東南アジア交易に参入した。オランダは遅れて東南アジアに進出したイギリスと、香辛料の特産地であるモルッカ諸島の支配権を取り合い、1623年にはアンボイナ事件を起こし、イギリス勢力を東インドから駆逐した。また、1641年にはポルトガルの占領地も奪取した。

だが、17世紀後半に胡椒価格の暴落などによってオランダの東南アジア遠距離貿易は不振となった。18世紀中葉に、オランダは、 [7] を保護国化し、さらに王位継承争いに介入して [9] を衰退させ、ジャワ島全域を支配するようになった。そして、貿易が変わって、ヨーロッパ市場で需要が高まったコーヒーや砂糖などの商品作物生産を領地で行なわせ収益を得ようとした。しかし、18世紀末にフランス革命軍と同盟した愛国党によってオランダ本国で [A] が樹立され、オランダ東インド会社は解散し、オランダ東インド会社領は本国の直轄領となった。さらに1806年に [A] はナポレオン帝政下のフランスによって占領され1810年にはフランス帝国に吸収された。この時、オランダの植民地をフランスが獲得する可能性を察知したイギリスは、軍を派遣しオランダの海外領土を占領した。⁽³⁾ 東南アジアにおいてもマラッカやジャワ島などのオランダ領をイギリスは占領した。その後、ウィーン会議の結果、オランダは立憲王国として復活し、ジャワ島の支配も認められた。他のイギリス占領地などの処遇について、合意に至らない部分が残されたので、両国は1824年に協定を結び、マラッカを含むマレー半島をイギリスが領有するのをオランダが認め、代わりにオランダはスマトラ島などマラッカ海峡の西と南を領有することになった。同時期にイギリスは、 [8] からその南端の島シンガポールを割譲によって獲得した。この結果、イギリスはすでに独自に獲得していたマラッカ海峡北部の島ペナンと合わせ、マラッカ、シンガポール⁽⁴⁾を [B] として領有し、ベンガル湾から南シナ海に向かうための拠点を確認したのである。

1825年にディボ=ネゴロが率いたイスラーム諸侯の反乱である [C] が起こったが、オランダはこれを鎮圧した。その後オランダは、その支配地域で強制栽培制度を開始した。⁽⁵⁾ さらに、19世紀後半にはティモール島の分割領有について

世界史

と協定を結んだ。また、20世紀初頭にオランダはスマトラ島の を平定し、ほぼ現在のインドネシアに当たる地域をオランダ領東インドとして植民地化した。

オランダ領東インドでは、20世紀に入ると、ジャワの文化の再評価をして民族意識の形成を目指す団体 が設立された。また、1911年には現地人の相互扶助や啓蒙活動を目的とする商人を中心とする団体 が生まれた。この団体の活動は1910年代末から反オランダ独立運動に発展した。

問1 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| a アチェ王国 | b アユタヤ王国(朝) |
| c クデイリ王国 | d コンバウン(アラウンパヤー)朝 |
| e ジャーヴァカ | f シャイレンドラ朝 |
| g シュリーヴィジャヤ(王国) | h ジョホール王国 |
| i シンガサリ王国 | j スコータイ朝 |
| k タウンゲー(トゥンゲー)朝 | l パガン王国(朝) |
| m バンテン王国 | n マカッサル |
| o マジャパヒト王国 | p (新)マタラム王国 |
| q マラッカ王国 | |

問2 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|----------------|-------------------|
| a イギリス | b オーストラリア |
| c オランダ王国 | d 海峡植民地 |
| e ジャワ戦争 | f スペイン |
| g ネーデルラント連邦共和国 | h バタヴィア共和国 |
| i パドリ戦争 | j バリ戦争 |
| k フランス | l ポルトガル |
| m マラヤ連邦 | n マレー連合州(連合マレー諸州) |

問3 空欄 と に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|------------------------|-----------|
| a カティプーナ | b 国民党 |
| c サレカット=イスラーム(イスラーム同盟) | |
| d タキン党 | e ドンキン義塾 |
| f フクバラハップ | g ブディ=ウトモ |

問4 下線部(1)について、次のア～エの文章のうち、正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 東南アジア諸国連合は、東南アジア条約機構(SEATO)の加盟国によって結成された。
- イ 東南アジア諸国連合の発足当時の加盟国は6カ国であった。
- ウ 東南アジア諸国連合の首脳会議は、1990年代にASEAN自由貿易圏(AFTA)の創設に合意した。
- エ 東南アジア諸国連合に加盟した10番目の国はベトナムである。

世界史

問5 下線部(2)の国々の政治家について述べた下記の記述を読み、文中の空欄

～ に当てはまる人名を解答欄に書け。

- ・インドネシアの大統領 は、第二次世界大戦前から独立運動を率い、日本の統治が終わった後に、宗主国との闘争に勝利し、独立を得た。
- ・フィリピンの大統領 は、旧宗主国との親密な関係に基づいて経済開発を進めたが、1986年の大統領選挙での開票操作への批判をきっかけに起こった革命で失脚した。
- ・ は、1955年にアメリカ合衆国に支援されてベトナム共和国を樹立し、初代大統領となったが、8年後に軍部のクーデタによって暗殺された。
- ・マレーシアの首相 は、「ルック＝イースト」を唱え、日本をモデルに経済成長政策を進めた。
- ・カンボジアの国王 は、独立を果たした後、国家元首となったが、クーデタで追放され長い海外生活を送った。しかし、晩年に帰国し、再度国王となった。

問6 下線部(3)の後、ウィーン会議でイギリスの領有が認められた場所はどこか。

下記の語群のうち、あてはまる場所のすべてを選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|--------------|--------|
| a ケープ植民地 | b ゴア |
| c セイロン | d 台湾 |
| e ニューアムステルダム | f ボルネオ |

問7 下線部(4)のペナンをイギリスはどこから獲得したのか。次のア～エの文章のうち、正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ポルトガル
- イ クダー(ケダー)王国
- ウ コンバウン朝
- エ ラタナコーシン朝

問8 下線部(5)について、強制裁培制度に関連する次のア～エの文章のうち、正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 強制裁培制度は、1830年からスマトラ島を中心に実施された。
- イ 強制裁培制度の下では、イギリス植民地のゴム栽培に対抗するため、主にゴムの栽培が強制された。
- ウ 強制裁培制度の下で米生産が不十分になり、飢饉が起こった。
- エ 強制裁培制度の下では、各村落の耕作地の3分の1でオランダ政庁が指定した作物を栽培することが義務づけられた。

世界史

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

19世紀の欧米社会について考えてみよう。産業革命発祥の地であるイギリスは、18世紀後半から19世紀前半にかけて圧倒的な工業生産力を誇り、世界経済をリードした。世界最大の植民地帝国として、イギリスは、それまで重商主義政策の象徴であった を1846年に撤廃し、また1849年には を廃止し、自由貿易主義への転換をはかった。

19世紀前半には、イギリスに続いて、大陸ヨーロッパの諸国やアメリカも工業化を開始した。 になると、アメリカ合衆国はイギリスを追いぬき世界最大の工業国となった。これに対し、それまで世界の工場とよばれたイギリスは、むしろ貿易や植民地との決済を中心に金融業を発展させるようになった。以前より王立証券取引所やイングランド銀行があったロンドンの という地域には、多くの金融業者が集まり、19世紀後半には国際的な金融センターへと発展を遂げた。イギリスの帝国主義政策はとりわけ有力な金融業者によって支えられた。1875年にスエズ運河株式購入に際し、イギリス首相 は、ロンドンの 銀行に融資を要請した。こうしてイギリスは、財政難であった からスエズ運河の株式の40%以上を購入し、 への圧力を強めたのみならず、スエズ運河の経営権を握った。

また、19世紀後半には、近代科学の成果に基づいて多くの新しい技術が開発された。⁽¹⁾ これらの新技術によって、石油や電力が動力として用いられるようになり、これまでの鉄鋼・機械・造船を中心とした重工業から、新しい産業分野である化学工業と電機工業が誕生し、重化学工業分野が形成された。こうして1870年代頃から第二次産業革命が始まった。電機工業分野の幕開けは、1866年の 社による発電機の開発にさかのぼる。その後、様々な分野で電力が動力として利用されるようになった。1883年には自動車エンジンの原型となる内燃機関が、 によって開発された。 はその3年後にガソリン自動車を完成させ、1890年に自動車製造と販売を目的に会社を設立した。

自動車工業の発展は、とりわけ石油精製業によって支えられた。アメリカではスタンダード石油会社が、その設立からわずか10年足らずの間に全米の製油能力

の90%を支配した。また製鋼業では、1901年に設立された [う] 社が、全米鉄鋼生産の4分の3を占めるに至った。

工業技術は、平和利用だけでなく武器の開発にも結び付いた。ドイツ西部の都市エッセンの鉄鋼業者であった [え] 社は、プロイセンの軍拡政策を軍需物資や兵器生産の側面から支えた。 [え] 社は19世紀後半に急成長し、株式保有を通じて重工業分野の異業種企業を傘下に置き、ドイツ最大の [お] を形成した。 [お] は、とりわけドイツで展開した独占の一形態である。

重化学工業分野では、弱小な企業は淘汰され、むしろ競争力のある大きな企業⁽²⁾が、ますます多くの資本を集積し、市場を支配できるほどの巨大企業へ成長するものもあった。

だが、第二次産業革命の意義は、工業生産力を飛躍的に上昇させた、という経済的側面にのみあるのではない。むしろいっそう重要なのは、それが社会の近代化を促し、文化や芸術も含め、人間の生活様式そのものを変化させるような役割を担った、ということにある。イギリスをはじめとする欧米列強諸国は、19世紀後半に、首都をはじめとする大都市の近代化を行った。例えば、フランス第二帝政期のセーヌ県知事 [ア] による都市計画として知られるパリ改造などが有名である。整然と街を区画し、道路網や上下水道やガス灯などを整備し、近代都市としての条件が整えられた。また都市には、博物館、美術館、コンサートホールなどの文化・娯楽施設が建設され、市民を主役とした近代都市文化が誕生した。1867年のパリ万国博覧会では [イ] が浮世絵などを出品し、ヨーロッパにジャポニズムの一大ブームをまき起こした。ヨーロッパの芸術家はこれに多に刺激され、例えば、作品「ひまわり」で有名な [ウ] は、歌川広重の浮世絵の模写をするなど、その画法に大きな関心を示した。また同じく日本の影響を強く受けた [エ] は連作「睡蓮」を描いた。

世界史

問1 空欄 と に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|----------|---------|--------|
| a 英仏通商条約 | b 航海法 | c 穀物法 |
| d 審査法 | e 大陸封鎖令 | f 奴隷制度 |
| g 東インド会社 | h 保護関税法 | |

問2 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。なお、空欄 には時期を示す語句が入る。

- | | |
|------------------|------------------|
| a 1850年代から1860年代 | b 1880年代から1890年代 |
| c インド | d ウェストミンスター |
| e エジプト | f オーストリア |
| g オスマン帝国 | h カーネギー |
| i グラッドストーン | j ケンジントン |
| k シティ | l シリア |
| m 第一次世界大戦直後 | n デイズレーリ |
| o チェンバレン | p フランス |
| q モーガン | r ロスチャイルド |

問3 下線部(1)に関連して、19世紀から20世紀にかけての自然科学や技術分野での新しい発見や発明をまとめた以下の表の空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な人名を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

発見者あるいは発明者の人名	功績
エディソン	電灯の発明
キュリー夫人	ラジウムの発見
<input type="text" value="A"/>	結核菌やコレラ菌の発見
<input type="text" value="B"/>	狂犬病の予防接種に成功
<input type="text" value="C"/>	エネルギー保存の法則 「力の保存」を発表
<input type="text" value="D"/>	無線電信の発明
<input type="text" value="E"/>	遺伝の法則の発見

- | | | |
|----------|---------|----------|
| a アムンゼン | b 北里柴三郎 | c コッホ |
| d コント | e サヴィニー | f スペンサー |
| g ダイナマイト | h ダーウィン | i デーゼル |
| j 野口英世 | k ノーベル | l パストゥール |
| m ファラデー | n ヘディン | o ベル |
| p ヘルムホルツ | q マルコーニ | r メンデル |
| s モース | t リカード | u リスト |
| v リービヒ | | |

世界史

問4 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| a カルテル | b クルップ | c コンツェルン |
| d ジーメンス | e シンディケート | f スタンリー |
| g ダイムラー | h デーゼル | i トラスト |
| j フォード | k ベッセマー | l ベンツ |
| m メジャー | n モルガン | o ロックフェラー |
| p ローズ | q ロスチャイルド | r USスチール |

問5 下線部(2)に関連した次のア～ウの文章のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はエを選べ。

- ア 独占の排除を目指し、1890年にシャーマン反トラスト法がアメリカで成立した。
- イ アメリカ大統領セオドア・ローズヴェルトは、独占の規制に努めた。
- ウ アメリカ大統領ウィルソンは反トラスト法の制定に尽力した。
- エ すべて正しい。

問6 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|--------|---------|
| a 江戸幕府 | b オスマン | c 葛飾北斎 |
| d クールベ | e ゴーガン | f ゴッホ |
| g ゴヤ | h セザンヌ | i ゾラ |
| j タスマン | k ドガ | l ドラクロワ |
| m ナポレオン3世 | n マネ | o ミレー |
| p 明治政府 | q モネ | r ルノワール |
| s ロダン | | |